

令和3年 第4回

京田辺市議会定例会
一般質問通告書

京田辺市議会

令和3年第4回 京田辺市議会定例会 一般質問通告書目次

通告順位	議員名	ページ
1	向川弘	1
2	上田毅	3
3	岡嶋一晃	4
4	青木綱次郎	6
5	南部登志子	8
6	河本隆志	9
7	秋月健輔	11
8	増富理津子	12
9	榎本昂輔	13
10	橋本善之	14
11	片岡勉	16
12	吉高裕佳子	18
13	次田典子	19
14	河田美穂	20
15	岡本亮一	21

1 今後の新型コロナワクチン接種の予約および接種体制等について

- (1) 3回目接種における接種方法ごとの予約と接種体制・開始時期等を問う。(集団接種・個別接種ごとの対象者・接種順序・案内方法・スムーズな予約方法と接種方法等)
- (2) 1回目、2回目のワクチン接種が終わっていない人への対応を問う。
- (3) 子どものワクチン接種に対する対応を問う。(これから12歳の誕生日を迎える子ども、および5歳から11歳の子ども)
- (4) ワクチン相談センターの対応・広報紙・市ホームページ・SNS発信における、気づきやすくわかりやすい案内を求める。

2 選挙投票日に投票所に行けない市民に対する投票をしやすくするための施策について

- (1) 期日前投票所を増設すべきと考えるが市の見解を問う。
- (2) 出張・滞在先等での不在者投票方法・日時等の的確でわかりやすい周知・案内を求める。

3 図書館における安心・安全な本の貸し出しについて

- (1) 本の貸し出しに関する感染リスクの無い運用が求められているが、市の見解を問う。
- (2) 本の除菌機器の設置をすべき考えるが、市の見解を問う。

4 上下水道料金における非対面の納金実施に向けた進捗状況を問う

- (1) 非対面の納金実施における方式や開始時期等を問う。
- (2) 非対面の納金実施の際の周知方法を問う。

1 災害に備えたトイレ設備について

台風等における災害時の備え、また今後想像もつかない大災害時の備えとして、清潔で快適に使える移動設置型トイレの購入を検討するべきと考えるが市の見解を問う。

2 新型コロナウイルス対策について

(1) 新型コロナウイルスに対し、ワクチン接種済みの人が増えた現在は全国的にも感染者が減っており少しは安心できると考える。来年2月再開予定の「Go To トラベル」は経済対策として有効ではあるが、人の行き来が増えることにより第6波を考慮すれば、感染者に対しての病院の手配およびサポートそしてケアをスピーディーかつ、充実させるべきであると考えますが、どこまでの準備および計画をしているのか問う。

(2) 約半年前の新型コロナ感染において感じたことであるが、本市では新型コロナ感染者は京都府保健所に任せておられたが、保健所の対応が良いとは言い難い。

一人住まいの人は、買物はもちろんのこと外出ができないのは当然である。解熱剤や咳止め等の薬の他、食べ物についても郵送で自宅に送付致します、と保健所職員からの電話はあったものの、一向に郵送してこなかった。

事実、私が体験した訳だが京都府保健所任せでは治るものも治らず、症状がひどくなり重症化してしまう懸念がされる。

飲食物は市が3日分の手配をされるとあるが、病院の手配等々、本市の過去・現在での対応について問う。

また今後の対応については十分な勉強もされたことであろうと思うことから敏速な対応を求める。

1 避難所とマンホールトイレの設置について

- (1) 国の防災基本計画では、仮設トイレと併せてマンホールトイレの設置を自治体に求めているが、本市のマンホールトイレ設置について問う。
- (2) 小学校の洋式トイレ率が低い中、市は校舎の長寿命化に併せて洋式化に取り組むとあるが、マンホールトイレの長寿命化が完了するまで仮設として代用できないかを問う。

2 いじめと不登校問題の認識と対応について

- (1) 小・中学校の不登校児童・生徒数が、ここ数年20%程度増加しているが、いじめ問題との関連性と市の認識を問う。
- (2) いじめ問題は、教師や学校側がいじめと判断して初めて教育委員会等に報告する事になるが、いじめ認定への教育委員会の指導方法を問う。
- (3) コロナ禍で、不登校児童・生徒数が過去最多になったと報じられている。原因の一つに、教員が多忙でいじめの見逃しも指摘されているが、本市の状況と対応を問う。
- (4) GIGAスクール構想による児童・生徒1人一台のタブレット端末授業が始まったが、全国ではタブレット端末の書き込みによるいじめ等が報じられている。市の指導方針と対策を問う。

3 地元要望

- (1) 市道東興戸線の拡幅と東興戸線と草内三山木線（旧農免道路）とを結ぶ新線の建設について市の見解を問う。
- (2) 城陽市の大型ショッピングセンターの開業や、草内工業地域の開発などにより、国道307号の渋滞や草内三山木線への車の流入が増すと考えるが、現在設計中の大住草内線と草内三山木線への接続及び草内三山木線のあり方について市の考えを問う。

1 農業政策について

(1) 米価下落に対する緊急対策について

2020年に続く2年連続の米価大幅下落に対して緊急の対策が求められている。

ア 国に対して、過剰在庫の買取りによる市場からの隔離や、外国産米の輸入制限などを行うよう求めるべきと考えるが、市長の見解を問う。

イ 本市の米作農家へ、市独自の緊急支援策を行うよう求める。

(2) 市産業振興ビジョンにもとづく取り組みについて

ア 農業分野でのビジョンに照らして、その達成状況、成果や課題について、市の見解を明らかにされたい。あわせて、策定以来5年間の取り組みの評価と総括、今後の方向性について、明らかにされたい。

イ この間の農家数、農地面積の減少について、その原因についての市の考えと対策を問う。

(3) 都市農業振興基本法にもとづき、市全域の農業を都市農業と位置付け、本市における「都市農業振興基本計画（地方計画）」の策定を求める。

2 市立図書館について

(1) 文化振興や市民活動の充実などで、市立図書館が果たしている役割について、市教育委員会の見解を明らかにされたい。

(2) 市民に開かれた市立図書館に向けた課題や、取り組みについて、市の考えを明らかにされたい。

(3) 複合型公共施設整備と市立図書館の将来像について

ア 複合型公共施設に図書館機能を付与するとした理由と、その経過について明らかにされたい。

イ 市立図書館の将来像について、広く図書館協議会委員など関係者をはじめ、利用者、市民の声を聞きながら進めていくべきと考えるが、

市の考えを明らかにされたい。

ウ 複合型公共施設の機能、収容施設、概要について、幅広い市民の声を聞きながら進めていくべきと考えるが、市の考えを明らかにされたい。

1 新型コロナウイルス感染症の影響と対策

- (1) 市財政や市事業への影響と今後の見通し、対策について問う。
- (2) 市内業者や市民生活への影響（失業・廃業・休職・生活保護申請者数など）と今後の見通し、対策について問う。
- (3) 医療・介護従事者、教員や保育士、消防士等に対して、定期的なPCR検査を求める。また、自宅療養者への看護や介護に従事した看護師や介護士に対する市の対応を問う。
- (4) 市長や議員特別職の報酬の削減を求める。

2 普賢寺小学校とコミュニティースクール

- (1) コミュニティースクールの評価と課題について、教育長の見識を問う。
- (2) コミュニティースクールの活動を下支えする、地域の方々の高齢化が顕著になってきた。ここにも後継者の課題があると考え、市の認識を問う。
- (3) UターンやIターンを含む移住の促進を図り、地域住民を増やしていく努力を。
- (4) 通学バス交通費負担の課題について問う。

3 失語症について

- (1) 本市における失語症認定者の数とサービス受給の現状を問うとともに、推定患者数についての認識を問う。
- (2) 市として、失語症患者とそのご家族へ支援することを求める。
- (3) 市として、職員や市民が失語症に対する認識や理解を深めることができるようにするとともに、失語症の方に対する意思疎通支援者養成に向けて努力せよ。

1 観光施策について

- (1) 行動規制緩和における観光施策についての見解を問う。
- (2) 観光スポットや最寄り駅におけるWi-Fi環境等の整備について問う。

2 災害対応について

避難所（備蓄品含む。）は、国際的なスフィア基準に沿っての運営が重要と考えるが見解は。

3 フードバンク普及促進について

- (1) フードバンク、フードドライブ等に対する周知、啓発への取り組みについて問う。
- (2) 活動者（団体）に対する支援も重要だと考えるが、見解は。
- (3) 各種イベント、事業との連携について問う。

4 教職員の負担軽減について

- (1) 兼職兼業の認可について、地域貢献活動を行う教職員の営利企業等の従事制限の運用について問う。
- (2) 学校諸活動等に教職員の補助として地域住民の協力を得るとともに、協力いただいた地域住民に対する助成についての考えを問う。

5 執務室の狭隘の解消について

市役所1階の旧食堂スペースは、市民目線と各部局との関連性も視野に入れた上でのレイアウトが重要だと感じるが見解は。

6 期日前投票所の設置について

国民投票法を踏まえ、市役所に続く期日前投票所の設置を増やしておくべき時期にきていると考えるが見解は。

7 受動喫煙対策について

- (1) 受動喫煙防止啓発区域での啓発活動を含めた、今後の施策を問う。
- (2) 受動喫煙防止啓発区域において、視覚的に訴える整備も必要と考える
が見解は。

1 基金運用について

金融資産に関するリスクを認識し、国内外の金融市場の動向を踏まえた上で基金運用すべきと考えるが、市の考えは。

2 社会人向けの正しい投資教育について

- (1) 高校において義務化される投資教育や専門家について、市の認識を問う。
- (2) 出前講座等で投資詐欺・金融詐欺防止に対するリテラシー向上をすべき。
- (3) 市民全体の投資リテラシーの世代間格差是正について問う。

1 学校給食における地産地消の推進について

- (1) 学校給食の地場産食材の使用割合の推移など、各校の地産地消の現状を問う。
- (2) 今後、中学校給食も始まるが、地産食材の利用を推進するに当たっての課題と対策を問う。
- (3) 学校給食の地産地消を支える上で、生産者の方々への働きかけや支援について、どのように取り組んでいくのか問う。
- (4) 地産地消と食育のまちづくりの中で子育てをどのように考えているのか問う。

2 就学前教育・保育施設的环境改善について

- (1) 幼稚園、保育所、こども園の幼児クラスにおける教諭・保育士の配置基準の見直しを。
- (2) 保育所の職員体制、勤務体制、処遇について問う。

3 女性支援について

誰でもが気兼ねなく、生理用品を安心して使用できるようトイレトペーパーのように公共施設、学校のトイレへ配置を求める。

1 天理山古墳群等保存に伴う史跡広場事業用地取得について

- (1) 市民とのコンセンサスは今後どのように取っていくのか。
- (2) 第4次総合計画の新たな位置づけとして市の考えを問う。

2 本市の選挙における投票率の向上について

- (1) 期日前投票会場の増設について、市の考えは。
- (2) 本市の10歳代への主権者教育の現状と課題、今後のビジョンは。

3 高齢ドライバーのブレーキ踏み間違え防止対策について

- (1) 急発進防止装置購入の補助制度の整備について、市の考えは。
- (2) 自動車運転免許証返納にかかる移動手段の補助や買い物支援の今後の見通しは。

4 持続的に地元企業が成長できるための環境整備について

- (1) 市内事業者から市内の事業者間での受・発注ができるクラウドソーシング仕事依頼サービスの構築といった、本市の仕事が他市へ流れないようにし、市内経済が循環するための施策を求められているが、市の展望は。
- (2) Uターン、Iターンを活用した事業継承モデル（後継者人材バンク等）の構築など、持続的に地元企業が成長できる環境整備へのニーズがあるが、市の考えは。

1 本市の組織機構について

- (1) 平成18年に策定された第3次京田辺市総合計画を着実に進めるための指針として、平成17年12月に「新京田辺市行政改革大綱」が策定された。改革に掲げる取り組みとこれまでの進行管理について問う。
- (2) 新京田辺市行政改革大綱の柱の一つに「行政経営改革」が掲げられ、当時は大規模な組織機構の改革が行われた。そのことを踏まえて以下のことについて問う。
- ア トップマネジメント機能の強化として、経営会議や総務調整会議が設置されたが、その背景と設置目的を問う。
- イ 各部局の自立経営を展望して政策推進室・副部長の設置をされたが、各々の分掌事務について問う。
- ウ 職員の意識改革と人材育成について問う。
- (3) 部及び直轄組織の所掌範囲のバランス、職員配置について問う。

2 北陸新幹線について

- (1) 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が進める環境影響評価等、現在の進捗状況は。
- (2) 新駅の位置が示された後に「市としてのまちづくりを検討する」とこれまで答弁されてきたが、具体的にどのような都市（まち）を展望して検討をするのか。また、具体的にどのような規模（範囲）を検討の対象とするのか。

3 新名神高速道路の全線供用に伴う交通対策について

高速道路等の整備により地元地域には企業立地などで経済効果が期待できる一方で、インターチェンジへの交通集中により一般道へは交通量増加の懸念がある。

- (1) 新名神高速道路沿線の地域を俯瞰して交通対策を検討すべきだが、京都府を始めとした近隣市町と連携した対策検討について状況を問う。
- (2) 八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジや田辺北インターチェンジのアクセス道路としての、松井大住線の4車線化整備スケジュールについて問う。
- (3) 山手幹線の交通量はますます増加が懸念されると思うが、その見解と対応策について問う。
- (4) 城陽市域で計画される大型商業施設やインターチェンジの設置に伴い、国道307号の交通量はますます増加が懸念されると思うが、その見解と対応策について問う。

1 在宅介護にある人に対する訪問理美容サービス利用に関する支援について問う

在宅で介護を受け、何らかの理由で施設入所やデイサービスに通所できない人が一定数おられると推察される。自宅における訪問理美容サービス利用に一定の支援が必要だと考えるが市の考え方を問う。

2 市主催の講演会・講習会等の動画配信等による学びの場拡大の取り組みについて問う

- (1) インターネット(市のホームページや公式ユーチューブ等)を通じて講演会・講習会等を一定期間、いつでもどこでも視聴できる仕組みを導入できないか問う。
- (2) 一部の区・自治会では分館公民館にインターネット環境を整えている。高齢者向けの健康体操や健康に関する講演会等をオンライン配信し、分館公民館で視聴・利用できる取り組みができないか問う。

3 水害ハザードマップの見直しについて問う

- (1) 水害ハザードマップ見直しに係る府や本市関係部局との情報連携の状況について問う。
- (2) 水害ハザードマップの見直しはこういったタイミングで行っているか問う。

4 道路や排水路などの公共インフラにおける改修・補修の取り組みについて問う

道路を中心とした公共インフラの不具合は、小さいうちに補修等の措置を行うことで長寿命化にもつながると考えており、マンパワーを増やし、力を入れて取り組むべきことであると考えている。その前提としてどのように効率的に公共

インフラにおける情報収集を行っているか、また、年間どれくらいの情報が集まっているのか問う。

5 小規模保育事業に対する本市の対応状況と今後の施設整備の見通しについて問う

- (1) 本市のこれからの小規模保育施設の需要規模をどのように見ているか問う。
- (2) 本市の小規模保育施設設置の相談が民間からあった場合、どのような協議や指導・情報提供を行っているのか問う。
- (3) 本市こども園整備との整合性に対する考え方はどのようなものか問う。

1 有機農業の推進について

(1) 国は、令和3年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定した。その中で、有機農業については、耕地面積に占める有機農業の比率を現状0.5%から2050年までに25%にする目標を掲げた。

これを受け、本市の見解は。

(2) 本市における有機農業の現状と課題を問う。

2 子どもたちにより安心安全な環境整備を

(1) 学校現場における香害啓発ポスターの活用について問う。

(2) スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポートスタッフ、部活動指導員の配置状況と今後の課題について問う。

(3) 子ども達がいつでも学べる居場所の確保を求める。

(4) 誰もが集えて遊べる公園づくりに向けて、インクルーシブ遊具の設置を求める。

1 天理山古墳群等保存と史跡広場事業用地について

- (1) 天理山古墳群等の保存と、史跡広場事業用地の取得の進捗状況はどうか。
- (2) 史跡広場予定地に(仮)史跡資料館を設置し、市民や子どもたちが学べるところをつくるべきだ。
- (3) 当該地は住宅予定地のため、古墳保存によって固定資産税収入は見込めなくなった。この点はどのように対応するのか。

2 子どもの権利条約を制定し、真の子育てNo.1のまちづくりを目指すべき

- (1) 子どもの権利条約を策定せよ。
- (2) 本年10月にみんなの学び舎・京田辺自主夜間小・中学校を開校した。毎週入学者が増えている。子どもの学ぶ権利を守るために夜間中学校の設置を急ぐべきだ。
- (3) 高校・大学受験料が高く負担が大変だ。補助を行うべきだ。
- (4) 就職に関する国家試験のための受験料を補助すべきだ。

3 市民が安心安全に暮らせるまちづくりを

- (1) 公共交通の充実と、高齢者と子どものバス・鉄道運賃利用料補助について問う。
- (2) JR大住駅周辺が大変暗く危険なので交番を設置し、ロータリー設置など駅周辺整備をせよ。
- (3) コロナ禍で遠くへの外出がしにくく閉じこもる傾向がある。市民に一休寺や大御堂観音寺などの無料拝観券や、さまざまな市内外のコンサートや観劇に出かけやすくするために無料券の配布をしてはどうか。
- (4) 市民が車の運転免許証を返納し、運転経歴証明書の受け取りを希望する場合は、証明写真料を補助すべきだ。

1 市民への分かりやすい広報、周知方法の検討について

- (1) 対象となる市民に確実に、そして、わかりやすい情報発信を、どのように考えているのか。
(HP・広報誌、その他の方法は)
- (2) 市民が情報を得られるように、デジタル格差解消への取り組みをすべき。

2 子どもの安心・安全対策について

- (1) 感染症対策として、小・中学校の教室に、加湿器を設置してはどうか。
- (2) 3歳6カ月児健診の視力検査に、フォトスクリーナーの導入をすべき。
- (3) 母子健康手帳の名称について、親子健康手帳と併記してはどうか。

3 防災訓練の充実について

- (1) シェイクアウト訓練の周知と回数を拡大すべき。
- (2) 防災士の、訓練への参加を推進すべき。
(リモート参加を含め)
- (3) 演奏会の最中に、避難訓練を実施する「避難訓練コンサート」を開催してはどうか。

1 消費税のインボイス制度について

消費税10%への引き上げに伴い、2021年10月からインボイス制度(適格請求書等保存方式)の登録申請の受付がはじまった。また2023年10月にはインボイス制度が開始される。

インボイス制度とは、売手が買手に対して、適用税率や消費税額等を伝え、仕入税額控除(課税売上から課税仕入に関する消費税を控除すること)を受け取る制度であるが、以下の点を問う。

- (1) インボイス制度の登録申請が開始されたが、相談窓口の設置などの対策が必要だと考えるがどうか。
- (2) インボイス制度による影響について
 - ア 個人事業主やフリーランスなど、年間売上1000万円未満の免税事業者に与える影響は。
 - イ 免税事業者がインボイスを発行できず取引から排除される恐れがあると考えるが、その影響について問う。
 - ウ 市内経済に与える影響について、市の認識を問う。
- (3) 多くの中小業者が影響を受けるインボイス制度を廃止するよう国に求めるべきだと考えるが市の対応は。

2 三山木小学校及び田辺中学校の施設整備(校舎、運動場、体育館)について

本市では、市南部地域の住宅開発に伴い、三山木小学校、田辺中学校の児童・生徒数が増加し、教室や運動場が不足している。良好な教育環境を確保するための対策について以下の点を問う。

- (1) 現在の同小・中学校施設の現状についての認識を問う。
- (2) 今後、予測される教室不足に対しどのような対策をとるのか。
- (3) 運動場や体育館は、総合的な学習や集会の場、またクラブ活動のため

岡本 亮一

に必要な施設である。学校設置基準に基づいた面積を確保できるのか。
市の見解を問う。